

## 仙台市戦没者・戦災死者合同慰霊祭



## 開催概要（平成22年度）

歳時名：仙台市戦没者・戦災死者合同慰霊祭  
会場：仙台市青年文化センター 交流ホール  
（市営地下鉄 旭ヶ丘駅 徒歩3分）

日時：平成22年7月10日（土） ※例年7月10日開催

参列者数：150人

連絡先：仙台市健康福祉局 社会課 022-261-1111（代表）

## 式次第（平成22年度）

1. 開 会
2. 黙 祷
3. 式 辞 … 仙台市長 奥山 恵美子
4. 追 悼 の 辞 … 宮城県知事、仙台市議会議員、宮城県連合遺族会会長、宮城県連合遺族会仙台支部長
5. 献 花
6. 閉 会

## 式 辞（平成22年度）

本日、ご遺族の皆様をはじめご来賓の皆様の御臨席を賜り、仙台市戦没者戦災死者合同慰霊祭を挙げるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

歳月の流れは早いもので、先の大戦が終わりを告げてから65年が過ぎ去ろうとしています。苛烈を極めた戦いのなかで、愛する家族を案じつつも遙か異国の地で、祖国のために殉じられた幾多の方々の心情に思いを馳せるとき、今もなお、尽きることのない悲しみが胸に込み上げて参ります。

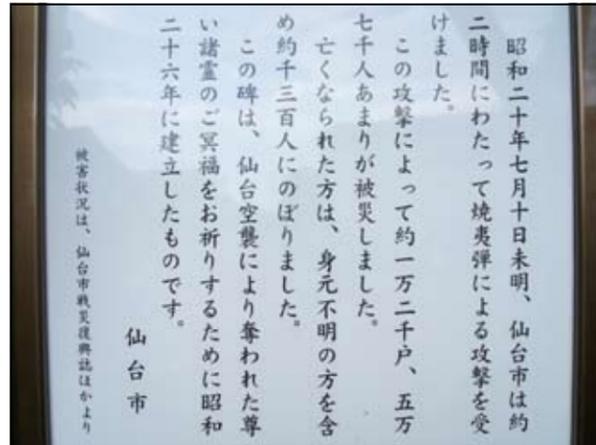
空襲によって一夜にして焦土と化した仙台の街は、郷土の再建復興に精魂を傾けられた方々のご努力によって、今では緑豊かな杜の都として見事に立ち直り、東北中枢都市として発展を続けるまでになりました。しかし、今日、私達が享受している平和と繁栄は戦争や戦災によって尊い命を失われた方々の犠牲の上に成り立っていることを決して忘れてはなりません。

ここに謹んで戦没者並びに戦災死者の方々の在りし日をお偲び申し上げ、御霊の安らかならんことをお祈りいたすとともに、未来永劫悲しみの歴史を繰り返すことのないよう、戦災を通じて学びとった教訓を次の世代に伝え、世界の恒久平和を築くために努力して参りたいと強く決意するものであります。

本日の式典に際し、ご遺族の皆様並びにご臨席を賜りましたご来賓の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、ご健勝をご祈念いたしまして挨拶いたします。

平成22年7月10日  
仙台市長 奥山 恵美子

# 戦災死没精霊供養碑



## 基本情報

所 在：仙台市北山霊園  
 住 所：宮城県仙台市青葉区北山2-10-1  
 (JR北山駅 徒歩5分)  
 連 絡 先：仙台市健康福祉局健康福祉部社会課 022-261-1111 (代表)  
 建 立 者：仙台市  
 建 立 年：昭和26年9月24日

## 碑 文

戦災死没精霊供養碑

昭和二十年七月十日殉難

## 説 明 文

昭和二十年七月十日未明、仙台市は約二時間にわたって焼夷弾による攻撃を受けました。

この攻撃によって約一万二千戸、五万七千人あまりが被災しました。

亡くなられた方は、身元不明を含め約千三百人にのぼりました。

この碑は、仙台空襲により奪われた尊い諸霊のご冥福をお祈りするために昭和二十六年に建立したものです。

仙台市

被害状況は、仙台市戦災復興誌ほかより

# 奈津子・十一才の夏



## 基本情報

所 在：仙台市戦災復興記念館  
 住 所：宮城県仙台市青葉区大町2-12-1  
 （市営地下鉄 広瀬通駅 徒歩10分）  
 連 絡 先：仙台市戦災復興記念館 022-263-6931  
 建 立 者：戦後五十年を記念し「奈津子の像」を贈る会  
 建 立 年：平成7年8月15日

## 碑 文

### 【表】

奈津子 十一才の夏

### 【側面】

「奈津子・十一才の夏」の像について  
 昭和二十年七月十日、仙台空襲により多くの市民の尊い  
 生命が奪われた。  
 「奈津子（当時十一歳）」は、その犠牲者の一人である。  
 ここに生命と平和の尊さを祈念しつつ、一少女像を建てる。

平成七年八月十五日 仙台市

「戦後五十年を記念し「奈津子の像」を贈る会」より寄贈

